

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

October 2021

October						
S	M	T	W	T	F	S
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

◆ 南陽神社

所在地：名古屋市港区春田野

交通：近鉄名古屋線「戸田」駅 南東 約 3km

昭和 34（1959）年の伊勢湾台風では、名古屋市全体で住家の全壊 6,166 戸、流出 1,557 戸となり、1,800 名余りの方が命を落としました。被害がもっとも大きかったのは南区で、死者は 1,417 名を数えますが、港区でもそれに次ぐ、375 名の方が命を落としており、この 2 区で犠牲者の 97% を占めています。学区別に見ると、1,000 人あたりの死者数が多いのは南区の白水学区 53.2 人、ついで宝学区 26.1 人ですが、港区でも、大半が江戸時代に伊勢湾を干拓した新田である南陽町では、海岸堤防を破堤して浸入してきた高潮の水勢によって干拓堤防付近の農家がほとんど流失もしくは全壊し、1,000 人あたりの死者数は 19.3 人と、大きな被害が発生しています。

伊勢湾台風災害誌（名古屋市、昭和 36 年 3 月）には、台風前後の状況が記されています。港区では、午後 9 時頃、高潮による溢水及び堤防の決壊が発生し、最高水位は 3m 以上となりました。台風の通過とともに、ただちに市本部および港消防署・港警察署への連絡のため、決死隊が派遣されましたが、連絡手段が奪われ、区内の状況は不明であり、救出活動は困難を極めました。被害が判明するに従い、区内全域 24,845 世帯が被災したことがわかり、以後、20 日間、水没状態となりました。

特に被害の大きかった南陽町では、新川船頭場付近の堤防決壊を皮切りに、9 時頃には、小川・藤高前・茶屋後新田地内の二重堤が決壊、その他、日光川・新川・海岸の堤

防等、26 カ所が被害を受け、海水が激流となって押し寄せ人家へ殺到し、安全地帯へ逃げようとした人々が激流にのまれ、多数の人命が失われました。浸水は全町にわたり、潮の干満により上下し、平地においても 2m 以上の浸水があり、全町が海と化しました。最大の決壊口となった新川河口藤高前地内では、決壊口が 100m に達し、水深も 6m ～ 10m となり、締切の見込み時期も不明で、住民は不安な毎日を過ごすこととなりました。

この間、町の全域は水没状態で、居住は不可能な状態でしたが、住民の自宅に対する執着は強く、多数の人々が水没家屋に残留する状態となりました。しかしながら、激しい潮流により、家屋の土台・壁・木材の流失が続き、倒壊の危険が迫る中、住居の避難を説得する努力が行われ、ようやく 10 月 2 日に集団避難に成功しました。その後、たん水は 11 月 6 日によりやく多少の減水を見るようになり、被災 79 日目の 12 月 13 日に完全排水に成功しました。

結局、南陽町では 199 名の方が犠牲となりました。港区春田野 3 丁目の南陽神社には、犠牲者を慰霊するために、伊勢湾台風殉難者慰霊之碑が建立されています。碑文には「木が倒れ家が大きく揺れる 恐怖に緊張に祈りが続く中に突然濁流が流れ」「堤防を乗り越えた海が逆落としてなって幾百の人と家を呑む。瞬時にして全町が泥海と化した」など、台風襲来時の様子が記されており、町内で犠牲となった 199 名のご冥福をお祈りする旨が刻まれています。



伊勢湾台風殉難者慰霊之碑 (kassen.net HP より)



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していたくとも、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

◆南陽神社の周辺には…

● 浜田南公園

所在地：名古屋市南区浜田町

交通：JR 東海道本線「笠寺」駅 南 約 1.5km

この公園は、伊勢湾台風の慰霊のために設置されました。公園内の伊勢湾台風殉難者慰霊之碑には当時の状況のほか、水害にあわれ



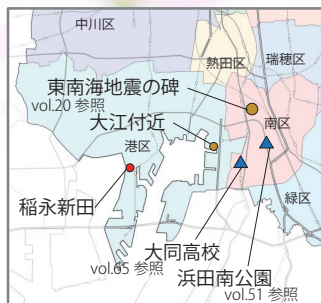
た人達の遺品の雨靴が道路わきに積まれ“くつ塚”と呼ばれるようになったことなどが記載されています。

● 大同高校（愛と力の筏像）

所在地：名古屋市南区大同町

交通：名鉄常滑線「大同町」駅 東 約 100m

「愛と力の筏」と名付けられたブロンズ像です。筏（台座）には、高潮水位が記されています。像の銘板には、伊勢湾台風時の高潮の状況、生徒達の献身的な活動などが記載され、こうした活動を長く伝えるために建てられました。



● 東南海地震の碑

所在地：名古屋市南区豊田 名南ふれあい病院 交通：名古屋市営バス「三新通二丁目」停 南すぐ

昭和 19（1944）年昭和東南海地震で、軍事工場の建物が倒壊し、動員されていた労働者と学徒ら 51 人に加え、朝鮮女子勤労挺身隊員 6 人が犠牲になりました。この碑は慰霊のために建てられたものです。



◆詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

★ 名港水上芸術花火

名港水上芸術花火は、音楽に合わせて花火が打ちあがる「グレートスカイアート」。打ち上げは 1/30 秒単位でコンピューター制御され、滞空時間、残存光を計算に入れ、音楽のリズムやメロディーに合わせて演出されます。名古屋港ガーデンふ頭を舞台に、毎年 10 月に開催されます。（2021 年は 10 月 23 日（土）予定）



Aichi Now HP より

芸術花火シリーズと呼ばれるもので、国内最高峰の内閣総理大臣賞を受賞した花火師達の芸術玉を中心に構成され、音楽のリズムや曲調にシンクロするよう綿密にプログラムされた音楽花火です。会場のロケーションや地域性を取り入れた大胆な演出も行われ、高度な技術によって従来の花火大会を芸術の域に押し上げたものとなっています。

あいちの農産物

かきは秋を代表する果物で、「古事記」などにも登場する古くから栽培されている果物です。甘みにコクがあり、ビタミン C やカロチン、食物繊維などを豊富に含み、風邪や生活習慣病予防、二日酔いに効果があると言われています。



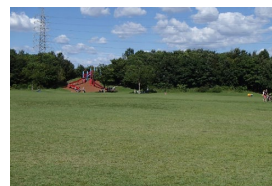
愛知県園芸農産課 HP より

愛知県の主な産地は豊橋市で、コクのあがる甘みと歯ごたえが特徴の「次郎柿」が中心です。幸田町では、形が筆の穂に似た「筆柿」が町の特産となっています。

● ブレイクタイム ●

♪ 戸田川緑地

戸田川緑地は、戸田川の両岸に広がる名古屋市西部で最大の公園です。こどもたちが「水」「緑」「土」を感じ、のびのびと遊べる「とだがわこどもランド」を始め、バーベキューを楽しめるピクニック広場や芝生広場、パターゴルフ場やファミリースポーツ広場、収穫時期には季節の野菜の収穫体験ができる農業文化園などがあります。緑地南側には緑道が整備され、ソメイヨシノ、カワヅザクラ、サルスベリなど、季節によって様々な景色を楽しむことができます。



名古屋観光コンシェルジュHP より

◆この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減齋の会・名古屋大学減災連携研究センター 2021 年 10 月）